

学校と保護者・地域を結ぶ

伊勢崎市立赤堀東小学校



サルビア

令和5年1月 回覧



3学期スタートです



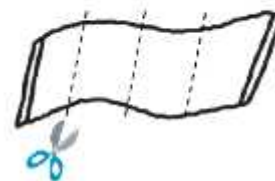
新年、おめでとうございます。令和5年になりました。(ついこの間「令和」になったと思ったらもう5年です。) 学校は、最後の学期が始まります。短いですが、進級、進学に向けて準備をする大切な学期です。子どもたちには「3学期は次の学年の0(ゼロ)学期」という言葉で伝えました。「できた・わかった・がんばった」ことがたくさんあるように、一日一日の学びを大切にしたいと思います。保護者の皆様のご理解ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

使用済みタオルの寄付をお願いします

保護者の皆様や、地域の皆様に寄付していただいた使用済みタオル等の布は、児童下校後の職員による校内消毒に大切に活用させていただいております。ありがとうございます。

在庫が少なくなってきましたので、再度のお願いをさせていただきます。今後も消毒作業を継続して行くために、ご家庭にあるタオル等の寄付をお願いいたします。タオルに限らず、着なくなったYTシャツ、ポロシャツ、トレーナー等でも大丈夫です。どうぞ、よろしくお願いします。

1/4 サイズに切ったタオル
(使用済みのもので可)



冬の感染症対策について

この冬は、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が心配されています。市内でもインフルエンザに罹患し、休む子が出てきているようです。今後も、手洗いうがい、手指の消毒、換気等基本的な対策を継続いたします。

急な体調不良でお子さんのお迎えをお願いすることがあります。緊急連絡先の電話番号が変更になった場合は、学校までお知らせください。

赤堀東小のいいところ

正義の味方大使レインボーが『赤堀東小のいいところ』を募集しました。「元気がいいところ」「あいさつができるところ」等たくさんいいところが集まりました。



掲示の仕方も素敵です。
さすが、レインボー

赤堀東小学校が投句数一位となりました！

ジュニア文芸、昨年投稿

上毛新聞ジュニア文芸（俳句、詩、短歌）に2023年は寄せられた作品の集計がまとまった。ジュニア俳壇への投句数は学校、個人を合わせて計17万4876句。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、前年から10%減少した。詩と短歌も前年を下回った。

学校の投句数は伊勢 全体で県内外160校、赤堀東小が1万5316句から寄せられた。16句で前年に続いて、選者の鈴木伸一先生に1位。②伊勢崎三郷小、③佐藤清美先生が選句1万3973句、④前橋し、⑤ジュニア俳壇1万4876句、⑥前橋山王小686句、⑦前橋山王小6993句と続いた。掲載、計10016句と最多は32句だった。

学校別の掲載数（個人投句を含む）は、山王小が最も多い158句、次いで赤堀東小122句、次いで赤堀小121句、大胡小121句、大胡小121句と続いた。紙面に5句以上掲載された児童生徒は、赤堀東小4年（以下）18人、若葉の部（小学5年）中3年31人、青葉の部（高校1年）20名、2人の計51人。

俳句は17万4876句
投句、伊勢崎赤堀東小1位

赤堀東小学校が「上毛新聞ジュニア文芸俳句の部」において投句数一位となりました。令和4年に子どもたちが詠んだ俳句は、なんと1万5316句。

四季折々の俳句を私も楽しく読ませてもらっています。1年生の冬休み明けの俳句も、たこあげ、カルタ取りとお正月の風物詩が満載です。

赤堀地区「こども未来会議」開かれる！

1月18日赤堀地区内の小中学校の代表児童・生徒が集まり、「赤堀地区こども未来会議」が開催されました。『自分たちの生活をよりよく』『いじめ防止』の2点について、課題や改善策などを話し合いました。



←まずは、自己紹介から。中学生が緊張している小学生の気持ちをほぐします。

意見をグループ分けして、発表に備えます。 →



それぞれの学校に戻り、話し合われた内容を伝えていきます。

学校給食週間です

～日々の食に感謝～



ルーレットでおみくじをひくコーナーもあります。新年を迎えた1月らしい食育掲示板です。

1月24日～30日は学校給食週間です。給食の歴史を振り返り、食べ物の大切さや作る人の思いを知ってほしいと栄養士の方が食育掲示板に素敵なコーナーを作ってくださいました。「昔の給食を見てみよう」のコーナーには私がこどもの頃に食べていた懐かしい給食も…。「お母さんやお父さんのこどもの頃の給食はね、、、」等の話でご家庭でも話題にできると楽しいですね。